

平成25年度 行政評価 施策カルテ

| | |
|-----|----------------------|
| 施策名 | 2 地域特性を生かした魅力ある拠点の形成 |
|-----|----------------------|

| | | | |
|-------|-------|---------|--------|
| 施策主管課 | 地域政策室 | 総合計画記載頁 | 129ページ |
|-------|-------|---------|--------|

1 施策の位置付け

| | | | | | |
|------|----------------------------------|----------------|-----------------------|---------------------|---|
| 政策の柱 | V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために | 政策名 (基本施策名) | 21 機能的で魅力のある都市空間を形成する | 政策の達成目標 (基本施策目標) | 市内の地域が、その特性に応じた個性や魅力、都市機能を備え、コンパクトで調和のとれた都市空間が形成されています。 |
|------|----------------------------------|----------------|-----------------------|---------------------|---|

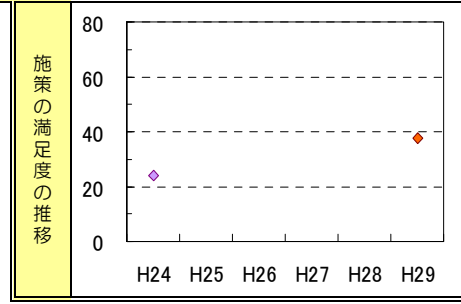
2 施策の取組状況

| | |
|------|------------------------------------|
| 施策目標 | 地域特性に応じた都市機能が集積された魅力ある拠点が形成されています。 |
|------|------------------------------------|

| ① 施策指標 | 指標名(単位) | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 (目標年) | 評価 | ② 中核市等との水準比較 | 指標名(単位) | | H24 (H23.3現在) | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | 評価 | | | |
|------------------------|----------|------------------|----------|---------|---------|---------|---------|--------------|---------|--------------|---------|---|------------------|---------|-----|-----|-----|-----|----|---|---|---|
| | 指標1 | 人口集中地区(DID)人口(人) | 単年度目標値 | 384,583 | 384,583 | 384,583 | 392,000 | 392,000 | 392,000 | | - | - | 中核市平均 | 6,115.4 | | | | | | | B | |
| 現状値 | | | 384,583人 | 実績値 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値(H29) | | | 392,000人 | 単年度の達成度 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 都市拠点(市内中心部)の通行量(平日)(人) | | 単年度目標値 | 105,000 | 106,000 | 107,000 | 108,000 | 109,000 | 110,000 | A | - | | | 中核市平均 | | | | | | | | | - |
| | | 現状値 | 103,880人 | 実績値 | 103,880 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 目標値(H29) | 110,000人 | 単年度の達成度 | 98.90% | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民意識調査結果 | 単年度目標値 | | | | | | | | | | - | - | H24(現状値) | | | | | | | - | | |
| | 現状値 | | 実績値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 目標値(H29) | | 単年度の達成度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施策の満足度(%) | 調査結果 | 24.0% | | | | | | | - | - | | | 目標値(H29) | 37.7% | | | | | | | - | |
| | 前年度からの増減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

| | |
|----------------------------------|--|
| ★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの) | $\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$ |
| ★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの) | $\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$ |



※評価の考え方

| | |
|------------------------|--|
| 施策指標 | A: 達成度90%以上 B: 達成度70%~90%未満 C: 達成度70%未満 |
| 中核市等との水準比較(中核市での本市の順位) | A: 上位1/3(1~14位) B: 中位(15~28位) C: 下位1/3(29位以下) |
| 市民意識調査結果(満足度) | A: 前年度より向上(2%超) B: 前年度同水準(±2%以内) C: 前年度より低下(±2%未満) |

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

| | | | | | |
|------|---|-------|--|-------|------|
| 施策指標 | <ul style="list-style-type: none"> 指標1および指標3における人口集中地区(DID)に係る数値は、国勢調査結果を用いており、H24年度の実績値を把握することはできない。 都市拠点の通行量調査について、これまでは28地点で定点調査を実施しているが、H24年度調査については、これまでの調査と異なることから(夏季17地点、冬季7地点)、実績値はなしとする。 | 市民満足度 | | 進捗の状況 | 概ね順調 |
|------|---|-------|--|-------|------|

3 施策を構成する事業の状況

| No. | 事業名 | 戦略P・主要事業 | 事業が属する総合計画の構成事業名 | 事業内容 | | 開始年度 | 施策目標を達成するための取組方針 |
|-----|-----------------------------|----------|----------------------|--------------------------|--------------------------|------|--|
| | | | | 対象者・物（誰・何に） | 取組（何を） | | |
| 1 | 中心市街地活性化の推進 | ○ | | 市民、来街者 | 「中心市街地活性化基本計画」に基づく各事業の推進 | H21 | ネットワーク型コンパクトシティの中核として、本市全体の発展を牽引する都市拠点の形成、及び「本市の顔」にふさわしい活力と魅力ある中心市街地の形成に向け、平成21年度に策定した「中心市街地活性化基本計画」の円滑かつ着実な推進を図る。 次年度は、引き続き「中心市街地活性化推進委員会」や「中心市街地活性化推進協議会」等において、関係機関の連携・調整を図りながら、官民一体となって、市街地再開発事業など各種事業等を推進していくとともに、現行基本計画（H22～H26）の計画期間満了を見据え、現状分析や意向調査を実施するなど、計画改定に向けて取り組む。 |
| 2 | 宇都宮駅東口地区整備事業 | ○ | 宇都宮駅東口地区整備の推進 | 市民・来訪者 | 立地施設の整備・促進 | H16 | 都市拠点の形成に向け、高次な都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。 次年度は、社会経済情勢の変化や民間事業者の動向を踏まえ、中核的施設の事業化可能性や、民間事業者の参画意向・事業化条件などを十分に調査するとともに、事業スキームを構築したうえで整備方針を策定し、事業化の推進を図る。 |
| 3 | 雀宮駅東地区整備の推進 | | 雀宮駅周辺地域整備の推進 | 関係権利者及び市民 | 道路整備（市道713号線） | H18 | 市南部地域の地域交流拠点として、都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。 次年度は、駅等への交通アクセス向上を図るため、引き続き、市道713号線の整備を進める。 |
| 4 | JR宇都宮駅西口周辺地区の整備 | ○ | 宇都宮駅西口周辺地区整備の推進 | 市民及び権利者等 | 地元のまちづくり活動支援 | H19 | 都市拠点の形成に向け、多様で高次な都市機能が集積された魅力ある拠点の形成を図る。 次年度は、地区整備の具現化に向け、地元権利者等の合意形成や関係機関との連携・調整を図るとともに、LRTなど関連事業の検討状況を踏まえながら、整備手法や区域設定等に係る調査・検討を行う。 |
| 5 | 雀宮駅西口沿道整備街路事業 | | 雀宮駅周辺地域整備の推進 | 関係権利者及び市民 | ・道路築造 ・宅地造成 | H18 | 市南部地域の地域交流拠点として、広域交通結節機能の強化を図ってきたが、平成24年度、雀宮西口駅前広場の供用開始となったことから、事業が完了した。 |
| 6 | 再開発事業の推進 | ○ | 市街地再開発事業の推進 | 市民及び権利者等 | 再開発準備組合へのコンサルタント派遣 | S57 | 中心市街地における居住環境の創出や、商業・業務などの高次な都市機能が集積する魅力ある拠点の形成を図る。 次年度は、早期の事業化が図れるよう、引き続き、地元組織の支援・指導を行うとともに、関係権利者の合意形成を図る。 |
| 7 | 岡本駅周辺整備事業 | ○ | ・岡本駅周辺地域整備の推進 | 岡本駅周辺 | 岡本駅橋上駅舎や駅前広場等の整備事業の推進 | H21 | 市北東部地域の地域交流拠点として、交通結節機能の強化及び交通アクセスの向上などを図る。 次年度は、岡本駅西口土地区画整理事業の進捗と整合を図るとともに、JR東日本など関係機関等との協議・調整を行いながら、駅周辺の利便性向上や居住環境の充実、良好な駅前景観の創出に向け、施設整備を進める。 |
| 8 | 宇都宮まちづくり推進機構補助金 | | | 宇都宮まちづくり推進機構 | 中心市街地活性化に向けた事業の実施・調整 | H11 | 「中心市街地の活性化に関する法律」に基づく中心市街地整備機構であるまちづくり推進機構を支援することにより、ネットワーク型コンパクトシティの中核となる都市拠点の形成を図る。 次年度は、引き続き、旧公益質屋（大谷石蔵）活用事業や釜川プロムナード整備事業等の継続的な実施や中心市街地活性化に向けた新たな取組への支援を行うとともに、新規会員の確保など、自立化に向けた支援に取り組む。 |
| 9 | 宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会負担金 | | テクノポリスセンター地区の施設立地の促進 | 宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会 | 事業推進のためのPR活動 | H6 | ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、テクノポリスセンター地区について、高度な産業・研究開発機能と生活空間が調和した東部地区の拠点としてのまちづくりを推進する。 次年度は、引き続き、研究施設や住宅などの立地促進に向け、各種イベントへの出展など販売促進活動に取り組む。 |

4 今後の施策の取組方針

| 今後の方向性 | |
|--------|--|
| 課題 | <p>◆各事業において、円滑な事業推進を図るためには、関係機関とのさらなる連携や関係権利者との合意形成、また、民間事業者の参画意向や条件の把握などが必要である。また、市税収入の急速な回復が見込めないなど、今後も各事業の財源確保が厳しくなることが見込まれる。</p> |
| 方向性 | <p>〈施策全般〉 ◆事業の推進にあたっては、より一層、効果的・効率的に事業を推進するとともに、関係機関や地元等との連携・調整、関係者への支援・指導に取り組む。</p> <p>〈主要事業〉 ◆中心市街地活性化の推進： 「中心市街地活性化推進委員会」や「中心市街地活性化推進協議会」等において、関係機関の連携・調整を図りながら、官民一体となって、市街地再開発事業など各種事業等を推進していくとともに、現行基本計画（H22～H26）の計画期間満了を見据え、現行計画の改定に取り組むなど、さらなる中心市街地活性化を推進する。 ◆JR宇都宮駅周辺地区整備の推進： 社会経済情勢の変化や民間事業者の動向を踏まえ、参画意向などを十分に調査するほか、LRTなど関連事業の検討状況を踏まえながら、事業化を推進し、都市拠点の形成を図る。 ◆再開発事業の推進（宇都宮大手地区等）： 引き続き、地元組織に対する適切な支援・指導を行うなど、権利者の合意形成や事業計画案の策定等を促進し、中心市街地における高次な都市機能の集積を図る。 ◆岡本駅周辺整備事業： 岡本駅西口土地区画整理事業の進捗と整合を図るとともに、JR東日本など関係機関との協議・調整を行いながら、駅周辺の利便性向上や居住環境の充実、良好な駅前景観の創出などを図り、北東部の地域交流拠点の形成を進める。</p> <p>〈その他個別事業〉</p> |